

いま憲法が危ない 街頭で危険性を訴える

憲法記念日の5月3日、常山知子皆野町議は、街頭から「いま憲法が重大な危機に直面しています。自民党と日本維新の会は、憲法の手続きを定めた憲法96条の改定で一致し、そのための法案を国会に提起し、夏の参院選挙の争点にしようとしています。」

「自民党などが改定手続きにこだわるのは、単に手続き論ではなく憲法9条の改悪にあり、それを中心にした憲法の全面改悪にあります。みなさん、『憲法を守れ』の



一致点で国民の共同をつくりあげ、憲法改悪のたくらみを阻止しましょう。」と国神、大淵、町なか、商店街、ヤオコー前などで訴えました。

また、共産党皆野町委員会は、みなのもんぱう号外「いまなぜ憲法を変えようとしているの？」を作成し、町内を戸別に配布しました。

第17回 金沢地区つつじ祭り

5/5風もなく爽やかな五月晴れの良いお天気に恵まれ、恒例のつつじ祭りが開催されました。元金沢小学校校庭のつつじは見事に咲き誇っていました。会場の萩神社境内には元金沢・出牛・谷津の3地域のみなさんがそれぞれ出店をだし、甘酒や豚汁のサービスもあり、のどかな雰囲気でした。



開会を告げるように、秩父屋台囃子がぎやかに境内に鳴り渡ります。舞踊やフラダンスも披露されました。今年の伝統の出牛浄瑠璃人形は、「妻は夫をいたわりつゝ、夫は妻に慕いつつゝ」で有名な、盲目の沢市とその女房お里のものがたり・壺坂霊験記が上演されました。

TPP参加は 私たちに何をもちますか

5月10日、熊谷で福田JA熊谷組合長、紙智子（共産党参議院議員）など多彩なパネリストによるシンポジウムが開かれた。

自民党が選挙公約を投げ捨てて、参加するTPP。知れば知るほど交渉参加を撤回させなければならない。

紙議員は、「世論調査で、賛成が高いのは、国民に危険な面が知らされていないから北海道では、一次産業が中心だから道レベルで繰り返し学習・宣伝しているので反対が高い」国益をアメリカに売り渡すTPPの危険な内容の宣伝が大切だと痛感しました。

(T・T)

